



可也コミュニティセンター

しまてらす

2022年6月1日発行

糸島市志摩初 18 番地 3

TEL/FAX 092-327-1734

E-mail : kaya.k@city.itoshima.lg.jp

No.27 号

三世代交流グラウンドゴルフ大会 参加チーム募集中!



防災メール
まもる君



可也コミュニティ
センターQRコード

今年で第8回目となる「三世代交流グラウンドゴルフ大会」を下記のとおり開催します。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により3年ぶりの開催となります。グラウンドゴルフは、子どもから高齢者の方まで気軽に楽しめるスポーツです。たくさんの皆さまのご参加をお待ちしています。

※参加希望の方は、行政区で取りまとめを行いますので、お住まいの行政区の組長さんか体育委員にお尋ねください。

(大会本部への申し込み締め切りは6/7 午後4時30分です)

日 時：6月19日(日) 8:00 受付開始 8:30 開会式

場 所：志摩中央公園

主 催：可也校区振興協議会

ルール：1 チーム8名の合計スコアで競技する。

小学生以上で可也校区に住所がある人で、行政区単位
のチームを編成。高校生は成人とみなす。

各試合のチーム8名の合計スコアで協議する。

申し込み：可也コミュニティセンターへ持参。

ファックス可(ファックスが届いたかどうかの確認の電話を
お願いします。)

チーム賞、個人賞を
たくさん用意されて
るって!
楽しみ♪



コミュニティセンター運営審議会開催

5月25日(水)パソコン室において第1回コミュニティセンター運営審議会が開催されました。中橋委員長進行のもと、慎重審議されすべての議事が承認されました。いよいよ令和4年度の事業・講座がスタートします!!本年度もまだまだコロナ禍での活動になります。

感染症対策をしっかりと行いながら
進めていきたいと思ひます。

皆様のご参加お待ちしております。



通学合宿中止のお知らせ



毎年9月に開催しています通学合宿は、新型コロナウイルス感染防止のため中止します。衣食住を共にする通学合宿では子どもたちの安全性が確保できない状況です。ご理解の程よろしくお願ひ致します。1日も早く終息し、来年こそは再開できることを願うばかりです。

【お詫びと訂正】
5月号の振興協議会監事のお名前が間違っていました。正しくは(正:松隈健様←誤:松田健様)です。大変失礼いたしました。

6月の行事予定



4日(土)	10:00	かやっこアンビシャス(いも苗)
5日(日)	8:30	志摩地区ソフトボール大会
7日(火)	10:00	初心者向け運動講座
	14:00	市同協可也支部理事会
	19:00	区長会
9日(木)	19:00	グラウンドゴルフ実行委員会
10日(金)	10:00	ダーツクラブkaya
11日(土)	10:00	しま歴史倶楽部(火山登山)
15日(水)	10:00	かしまし学級
19日(日)	8:30	三世代グラウンドゴルフ大会
21日(火)	10:00	男厨喰楽部
23日(木)	19:00	青少年育成指導員会
25日(土)	10:00	かやっこかアンビシャス(ヨガ)
28日(火)	10:00	初心者向け運動講座
30日(木)	10:00	楽々ウォーク

★行事予定は変更になる場合があります



灯台下暗し NO26

「木目は面白い！」

田川 隆太郎さん(73歳)



今回ご紹介するのは、木目は面白い！と語る田川隆太郎さん(志摩師吉在住)。

長崎出身で学生時代に林学を学んだことをきっかけに、森木に携わる仕事をされ、5年前に糸島へ移住。木工細工が趣味で、ストラップや一輪挿しなどを作っておられます。古木をある程度の形に切って、そこから削ったり磨いたりしていくと、表面に不規則な年輪の模様が現れます。特に根や枝の部分の年輪は、幹の年輪に比べると一癖も二癖あり魅力的なのだから。実際に木工細工を見せてもらいましたが、本当にユニークな年輪の模様が浮かび上がっていました。「同じ模様のものは2つとできない。だから『木目は面白い！』んです。」と田川さん。

もう一つの顔は、森林インストラクター。福岡県内各地の小学校に木の面白さ、自然について知ってほしいと森林環境教育活動で授業に出向かれています。また、月に1回「木を磨いて楽しむ講座」を油山市民の森で開催。磨き沼にハマる人が続出の講座だそうです。

ここ最近では、怡土の高祖神社の御神木だった古木を使ったオガタマノキの勾玉ストラップが秘かに人気があるらしく「作るの大変なんだよ〜」と言いながらも嬉しそうに語る田川さん。様々な木や森の話題で話が本当に尽きず、楽しい時間でした。

ありがとうございました。
木って茶色一色じゃない。まずは身近な木をじっくり観察してみませんか。(櫻井)

木を磨いて楽しむ講座



油山市民の森行事

糸島市健康づくり課より

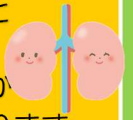
保健師コラム第24号

かんじんかなめ

肝腎要の腎臓を守ろう

熱日本の成人の8人に1人が慢性腎臓病といわれています。

悪化すると、**脳卒中**や**心筋梗塞**のリスクが高まり、**人工透析**が必要になることもあります。腎臓を守るためには早期発見・生活改善が大切です。



腎臓を守る方法

- ①尿と腎機能を定期的にチェック(特定健診で分かります)
- ②血圧と血糖値をしっかりコントロール
- ③薄味を心がける
- ④感染症・脱水に注意



問い合わせ：糸島市健康づくり課
☎332-2069

わがまち自画自賛



稲留行政区は、火山の山裾に広がるなだらかな丘陵地と平野からなる地域です。

歴史は、古く縄文時代(2500年前)の遺跡(一の町遺跡)が発掘調査されました。江戸時代には、米作りに適した地域と知られ、「稲留」と表されていました。

集落の間を抜けて火山に登る道を行くと頂上手前の開けた山腹に、瑠璃光寺があります。

「筑前国続風土記」によると、神功皇后が山頂で火を焚いた事から不治の火山と呼ばれるようになったとあり、瑠璃色の光の伝説とも合わせ、昔から、「火」や「光」に関わる信仰が深い場所があったことがわかります。

公民館から少し西の方に稲留神社があり、天満宮と共に神社活動も盛んに行われています。集落の中心に公民館があり、数年前に増改築され新しくなり、行政活動(行政・老人会・壮年会・青年会・子ども会消防団)の場所として活用しています。

近年では、新しい住宅等も少しづつではありますが増えてきている行政区であります。

最後にコロナ感染症の終息を行政区全員で願っています。



稲留行政区区長 吉村 光治

